

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : グループホーム 誉ヶ丘
 作成日 : 平成23年1月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の変動により、職員間の介護技術や知識等にばらつきがあり、新入職員・中堅職員等レベルにあった教育を行いながら、レベルの底上げをする必要がある。	外部及び職場内研修を充実させ、自立した介護を早急に身につけることで、ホーム全体のレベルアップを図っていく。	1. 新人教育マニュアルにより、随時実施する。 2. 毎月の職場内学習会にて、基本的な技術や知識を学習する。 3. 介護技術の振り返りを行い、不足する項目は補習する。	6ヶ月
2	4	2ヶ月に1回開催しているが、テーマの選択が難しく、マンネリになっている傾向が見られる。	1. 一人でも多くの家族の参加が得られる。 2. 家族の要望に沿った話し合いができる。	1. メンバーの意見を集約し、新年度にてテーマを選択する。 2. 家族の要望・意見に神速に対応し、話し合いの機会を作る。	3ヶ月
3	10	意見や要望等へは真摯に耳を傾けているが、集約方法や意識付けが職員により異なっている。	1. 意見や要望が少ないことに甘えることなく、利用者や家族等からの意見や要望を、一つでも多く集約していく。 2. 集約した意見は早急に検討し、運営に活かしていく。	1. 運営推進会議や面会時を利用して、意見や要望等の有無を確認し記録する。 2. 面会や訪問が少ない家族に対しては、電話や連絡物等にて確認し記録する。 3. 秋祭りや花見等の行事参加を通して、気軽な雰囲気意見交換を行う	6ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。